



1840P01

ケーブル型温度検出器

QAH11..

用途

ケーブル型温度検出器は、主に還気温度検出器または配管表面温度検出器として使用され弊社調節器と組み合わせて、冷/暖切替え用などに使用されます。

タイプ

説明	型式
ケーブル型温度検出器、2.8 x 0,8 mm コネクタ付	QAH11
ケーブル型温度検出器、棒端子付	QAH11.1

アクセサリ

名 前	型式
配管用マウントキット	ARG86.3

オーダー

型式と個数で注文して下さい。 例：QAH11 3台
 （注記）マウントキットは別売です。別途ご注文願います。

機能

QAH11..温度検出器は、感温部に NTC サーミスタを使用し温度上昇と共に抵抗値が減少します。その使用方法については、各調節器の計装例に従ってください。

構造

検出器は、NTC 感温部とケーブル及びコネクタ（または端子）から構成されます。マウントキット（“アクセサリ”参照）は、配管取付用で、12...16 mm の口径まで取り付け可能です。

取付上の注意

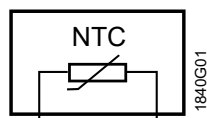
検出器の取付は、正確な温度を検出できる場所に取り付けてください。
 FCU の戻り温度を検出する場合、インシロックなどで固定します。
 また 保温がある配管表面に取り付ける場合、保温材の内側へ取り付けてください。

技術データ

機能データ	温度検出範囲	-20...70 °C ¹⁾
	温度検出素子	NTC (3 kΩ : 25 °C にて)
	静止空気の時定数	1.5min
	検出精度 (25 °C にて)	±0.3 K
保護データ	出力	パッシブ (抵抗) 出力
	絶縁クラス	II (EN 60 730)
配線接続	付属ケーブル	約 2.5 m
	ケーブル仕様	0.75sq-2 芯 (黒)
	長さ	2.5 m
	ケーブルコネクタ (QAH11)	プラグコネクタ : 2.8 x 0.8 mm
質量	端子 (QAH11.1)	棒端子
	梱包込み	0.07 kg

¹⁾ もしも接続ケーブルが固定されていなければ、温度検出範囲の最低温度は、-5°Cとなります。

内部配線

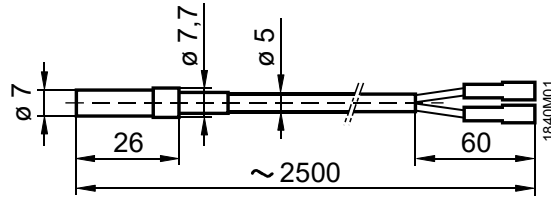


NTC (3 kΩ : 25 °C にて) の抵抗特性

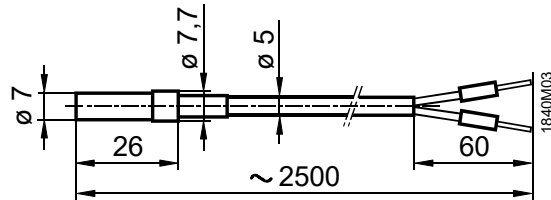
温度 [°C]	-20	-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20	+25
抵抗 [Ω]	29'751	22'257	16'815	12'825	9'867	7'656	5'991	4'722	3'750	3'000
温度 [°C]	+30	+35	+40	+45	+50	+55	+60	+65	+70	
抵抗 [Ω]	2'416	1'958	1'597	1'310	1'081	897.0	747.9	627.0	528.0	

寸法 (mm)

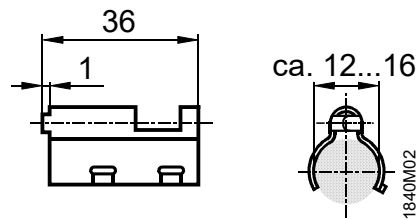
QAH11



QAH11.1



アクセサリ
ARG86.3



アーチバック株式会社
URL: www.archvac.co.jp/

本社 〒211-0012
神奈川県川崎市中原区中丸子 174 番地 平山ファインテクノ 2 階
TEL: 044-455-9111 (代) FAX: 044-455-1050

札幌営業所 〒003-0027
札幌市白石区本通 19 丁目北 1 番 86 号
東テック北海道株式会社 本社ビル内
TEL: 011-799-1946 FAX: 011-799-1947

2020-07 版
記載内容はお断り無く変更する場合があります。